

矢部清流学園
学校だより 12号



善遊善学

学校教育目標 あるさと矢部を愛し、未来を拓く学力と健康な心と体を持ち、共に伸びる
児童・生徒の育成～学校地域家庭をつなぐ「縁がかりの教育」の推進～

重点目標 目標に向かって粘り強く取り組む児童生徒の育成

令和7年2月19日 文責 古川 志乃



最強で最長の寒波到来！ 銀世界の矢部！

2月、大寒波が到来し、矢部も連日の雪景色。8日(土)の朝、竹原では30cmの積雪、氷点下8℃を観測したと伺いました。雪合戦や雪だるま作りはもちろん、アイススケート場と化したグラウンドでの野球の練習(スライディング練習)やそり遊び、かまくら作り……。子ども達はエキサイティングなひとときを過ごしたようです。7日(金)の午後、降雪の状況から、急遽、下校を早めましたが、保護者の皆様には、ご理解・ご協力を賜り、ありがとうございました。

9年生は、1月末から高校入試に挑み、自分の進路を一步一步切り拓いています。すでに入試が終わった人もいますが、結果に一喜一憂せず、自分が取り組んできたことをきちんと振り返り、次に生かしていくことが大切です。自分の夢に向かって一生懸命努力する姿勢は、必ず未来につながります。最後(3月5日 公立高校一般入試)まで、互いに励まし合って頑張っていきましょう。

1・2・3年生 放課後学習「寺子屋」閉講式

地域学校協働活動の一つ、放課後学習「寺子屋」が2月17日(月)をもって修了いたしました。1・2・3年生は、毎週月曜日の6限目、地域ボランティアの方々(鬼塚八千代さん、古賀浩美さん、中司薫さん)にご協力いただき、国語と算数のドリル学習を取り組んできました。

閉講式で、子ども達は、「先生方のおかげで粘り強く、問題に取り組むことができるようになりました。」「やさしく教えてもらってうれしかったです。」「どんどん問題を解くことが楽しくなりました。」「次の学年になっても、頑張りたいです。」と意欲的な感想をまじえながら、先生方にお礼の言葉を伝えることができていました。

鬼塚先生、古賀先生、中司先生、一年間お世話になり、本当にありがとうございました。学校を離れられる際、「子ども達と一緒に過ごす時、いっぱい元気をもらいます。」「私たちの方こそ、うれしかったです。」「ロクに言っていたが、感謝感激でした。地域の方々に温かく見守っていただいていることを、心から嬉しく思います。」



矢部公民館まつり 2月2日(日)

2月2日(日)、公民館まつりにて、前期課程児童は矢部村で歌い継がれている民謡「公卿唄」を披露しました。当日、参加できる児童が少なかったため、7年生全員が応援参加しましたが、公民館まつりに集われた人々に元気を与えたいと一生懸命唄いました。事前の練習の際には、山口久幸先生ご夫妻にも来校していただき、アドバイスをいただきました。ご協力ありがとうございました。

また、7年生は職場体験学習の取組について、8年生は修学旅行の取組について、それぞれにプレゼン資料を提示しながら報告をしました。

この日、食心会の方々が参加者に豚汁と炊き込みご飯をふるまわれたのですが、矢部の中高生ボランティア「チャリ teen's」は、配膳の手伝いをしたり、会場の後片付けをしたりして、地域貢献に努めました。地域行事に積極的に関わることで社会性が身についたり、自分の役割と責任を考えた行動ができるようになったりします。今後も、矢部を支える一人として積極的に行動してほしいと思います。



児童集会「前期課程お楽しみ会」 2月13日(木)

2月13日(木)、前期課程児童は「お楽しみ会」を行いました。今回の「お楽しみ会」は、5年生が12月から原案を作成し、5・6年生が協力して、準備や当日の運営・進行・ゲーム説明を行いました。1～4年生もプログラムを作成し、会を盛り上げることができていました。「みんなで楽しめてよかった!」と満面の笑顔で感想を語り合っていた様子がとてもほほえましかったです。

「だるまさんが…〇〇した!」ゲーム
〇〇には、鬼さんがくじをひいて…
それに合わせてジェスチャー!〇/

「だるまさんが…泣いた!」

「だるまさんが…野球した!」



6年 八女市こども議会 1月25日(土)

八女市内の小学校および義務教育学校から6年生の代表者が「八女市こども議会」に参加し、事前にクラスの仲間と共に考えてきた質問事項について、的確な根拠を示しながら堂々と述べました。「八女市をよりよくしたい」という思いで、本物の議会さながらの質問をしました。萩原八女市長さんは、子ども達の質問に対して、一つ一つ丁寧に答弁されました。

このような機会を通して、自分たちの意見や考えを発信し、地域・社会へ積極的に関わろうとする姿勢はとても立派でした。

萩原市長さんとツーショット！



【矢部清流学園からの質問 6年】

『いろいろな世代間の交流について』

矢部村には、「ゆいのもり」という特別養護老人ホームがあります。その施設の職員の中には矢部村の人たちもおられ、同じ地域の人からお世話してもらえることに喜びをもっている老人の方もいらっしゃると聞きました。矢部清流学園の7・8年生は、「ゆいのもり」を訪問・交流し、多くを学んでいます。いろいろな世代の人たちが気軽にふれあえる機会や施設ができればよいと考えますが、そのことについて八女市の取組を教えてください。



4・5年 原木しいたけ栽培 2月7日(金)

雪が舞い散る寒い中、4・5年生は原木しいたけの「菌打ち」体験を行いました。中司勝万さんのご指導のもと、ほだ木に穴を開け、しいたけの「菌打ち」をしました。穴開けは通常電動ドリルで行いますが、昔使っていた道具（金づちで太い釘のような金具を打って穴を開ける道具）も体験させていただき、子ども達はワクワク、ドキドキしながら穴を開けていました。

菌を打ったほだ木は、木龍の北側（暗くて寒い場所）に運び、井形に積んでいきました。しいたけの生育には2年を要します。じっくりじっくりクヌギの栄養分を吸収して大きくなっていくことでしょう。2年後に、試食、販売をするのが楽しみです。



PTA活動 メイクアップチャレンジ

本年度の重点目標「目標に向かって粘り強く取り組む児童生徒の育成 ～鍛えよう！ほめよう！～」を達成すべく、PTA活動でも取り組んでいただいているメイクアップチャレンジデー（毎月1日に、子どもが目標を立て、翌月に親子で振り返る）の取組も、残すところあと一回になりました。この一年間で、お子様の成長を感じられたでしょうか？ 一生懸命に取り組んだこと（結果よりも過程）をほめられることは、誰でも嬉しいものですね。ポジティブになれるのもですね。まずは、子どもが目標に向かって頑張れる環境を作ってあげること、そして、その頑張った過程をしっかりとほめて、意欲を高めさせること・・・私たち周囲の大人が心がけていきたいものです。ここに、メイクアップチャレンジデーカードに記されたステキな親子の対話を紹介します。

- 【子:めあて】夕食の準備をする → 【子:反省】手伝うことがほぼできたのでよかったです。 → 【保護者】お手伝い助かっています。これからも続けてください。
- 【子:めあて】大きな声で音読をする → 【子:反省】できた時はうれしかったので、今日もがんばります。 → 【保護者】私もうれしかったです。
- 【子:めあて】駅伝や浮立の練習を頑張る → 【子:反省】しっかり頑張れた。 → 【保護者】あなたはいつも頑張っています。頑張りすぎて、疲れがたまらないように気をつけてください。
- 【子:めあて】1日1回、本を読む → 【保護者】本はよく読んでいた。妹に読み聞かせもしてくれた。次のめあては目に優しい生活をして、過ごしてほしい → 【子:翌月のめあて】しせいをよくして、目を30cmはなして読む。
- 【子:めあて】みんなのくつ並べをしよう → 【保護者】くつ並べ・・・気がつけば、はき掃除もしてくれていました。助かりました！

入賞おめでとう！

【福岡県学校給食レシピコンクール】	優良賞	8年
【世界子ども愛樹祭コンクール】		
詩・作文の部	福岡県教育委員会賞	9年
	長野ヒデ子賞	8年
	福岡県森林組合連合会会長賞	7年
	JAふくおか八女組合長賞	7年
	NHK福岡放送局長賞	9年
	西日本新聞社賞	9年
絵画の部	福岡県議会議長賞	4年
	福岡県教育委員会賞	6年
	西日本新聞社賞	6年
木はがきの部	JAふくおか八女組合長賞	9年

後期 保護者アンケート結果から

①していない ②あまりしていない ③だいたいしている ④している

